

2024(令和6年)度「自然観察会」～円山登山観察会～（主催）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	円山登山観察会（円山八十八か所登山口～山頂～動物園側ルート下山～出発口）	
開催日時	2025（令和7）年1月19日（日）10：00～12：30	
天 候	晴のち曇（開始時風速3.9m/s） 出発時△3.2℃ 正午2.1℃（アメダス札幌）	
参加状況	一般参加者：8人（全員大人：1班）／ボラレン：8人（前日下見会8人）	
観察記録 主なもの	草 本	オオウバユリ（花殻）、ミヤマニガウリ（枯れ蔓）、エゾイラクサ（茎）、クルマバソウ（地表が覗く斜面に越冬葉）
	木 本	（果実）アズキナシ、ハリギリ、カツラ、ホオノキ（不稔？）、アサダ、サワシバ、ヤマブドウ、ハシドイ（花殻） （冬芽）シウリザクラ、ニガキ、ハクウンボク、カツラ、イタヤカエデ、ホオノキ、ウリノキ、サワシバ、サルナシ、マタタビ、ヤチダモ、オニグルミ、ミズナラ、
	野 鳥	（留鳥）ヤマガラ、ゴジュウカラ、ハシブトガラ、クマガラ、ヒヨドリ、 （冬鳥）イカル、 * 鳴き声を含む
	その他 虫こぶ 動 物	ハクウンボクエダサンゴフシ、ミズナラメコガタニセハナフシ、ササウオフシ、エゾリス、キタキツネ * 足跡を含む
感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期としては、穏やかな天候で積雪も平年の半分程度と絶好の観察会日和に。 ・足元もしっかりしていて、会員・一般含めて16名の参加をいただき、時間も5分前に終了するというスムーズな進行ができた。 ・昨年来てくださったお客様にまた足を運んでいただけたことはとても励みになりました。 ・前日下見会時に比べ、行き交うランナーや登山者、観光客は少なかった。 ・折良く、頭上でアズキナシを採餌する野鳥「イカル」を観察する機会に恵まれた。 ・ハクウンボクの枝にたくさんの虫こぶ「ハクウンボクエダサンゴフシ」を観察。夏の葉に「ハクウンボクハナフシアブラムシ」が産卵。2年がかりで”珊瑚”状に形成されるそう。ボラレン行事では、初の観察記録と思われます。 ・公衆トイレの関係で、朝の集合場所を円山公園事務所前にも要検討。 	



「円山」登頂記念（お客様8人、ボラレン8人）



細い一本道の登山道・往來の合間に解説



アズキナシの果実にイカル



ハクウンボクエダサンゴフシ



ササウオフシ



ウリノキの冬芽



ミヤマニガウリ

（記録担当：渡辺早苗、藤田 潔、仲西正彰、藤吉 功）